

第**213**期

営業の中間ご報告

ミニ・ディスクロージャー誌

2022年4月1日から

2022年9月30日まで

KIYO

株式会社 紀陽銀行

2022年12月発行

経営企画部 広報・IR室

〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地

TEL.073-426-7133

<https://www.kiyobank.co.jp/>



取締役頭取

## 原口裕之

皆さまには平素より紀陽銀行をはじめ紀陽フィナンシャルグループをお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

さて、このたび、すべてのステークホルダーの方々へ当行に対するご理解を一層深めていただくため、「2022年9月期ミニ・ディスクロージャー誌」を作成いたしました。当行の最近の取り組みや業績などをまとめておりますので、ご覧いただければ幸いに存じます。

新型コロナウイルス感染症の取東が見通せないことに加え、不透明なウクライナ情勢や急速な円安、資源価格の高騰など、私ども地域金融機関におきましてもその影響は予断を許さない状況が続いています。加えて、デジタライゼーションの加速やカーボンニュートラルの実現など、新たな社会構造が形成されつつあるなかで、あらゆる課題に取り組んでいかなければなりません。

また、このような不透明な情勢が継続するなか、紀陽フィナンシャルグループが思い描く「将来の姿」をステークホルダーの方々へ明確にお示しする必要性が高まっていると感じ、本年8月に長期ビジョン「お客さまとの価値共創と企業変革への挑戦を続け、人が未来を創造する地域金融グループとなる」を策定しました。

この長期ビジョンのもと、昨年4月より進めている第6次中期経営計画のコミットメントである「どんな課題にも本気で向き合い、お客さまの期待をこえる銀行となる」を実現すべく、紀陽フィナンシャルグループが一体となって、地元地域のお客さまへの本業支援や成長支援を通じた価値共創に取り組み、地域での圧倒的な存在感を發揮する地域金融グループを目指してまいります。

「地域社会の繁栄に貢献し、地域とともに歩む」という当行グループの経営理念に基づき、これまで当行を支えていただいた方々への「感謝」を忘れることなく、全役員一丸となってサステナブル社会の実現に貢献してまいりますので、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

ミニ・ディスクロージャー誌 2022年9月期 営業の中間ご報告	■ ごあいさつ	2
	■ トピックス	3
	■ 業績ハイライト	5
	■ 財務諸表	9
	■ 株式情報	13

※本冊子に記載している計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

## 銀行をこえる銀行へ

いつでもお客さまのそばへ飛んでいこう、と思う。

地元を、盛りあげようとする人がいる。

ならば私たちは、

その人の理想をかなえる力になろう。

どんな課題にも、本気で向き合い

そこまでやるかと言ってもらえる銀行に。

わたしたちは、お客さまの期待を、こえてゆきたい。

いつでも境界線を乗り越えたい、と思う。

わたしたちは、地元を知っている。

そこに暮らすお客さま同士を結びつける、

その方法を知っている。

結びつける地域が大きくひろがっても

どこまでも力になれる銀行に。

わたしたちは、地域の壁を、こえてゆきたい。

いつでも新しい世界へ跳躍したい、と思う。

歴史を紡いできた誇りを胸に

けれども、いままで通りの銀行とは違う、

そんな道を選びたい。

たんなる金融機関ではない

人生を丸ごとまかせてもらえるような銀行に。

わたしたちは、銀行という枠を、こえてゆきたい。

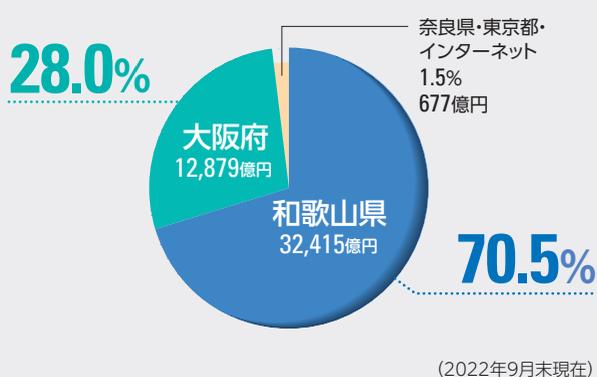
写真：高野龍神スカイラインからの眺め



預金等残高(単体)



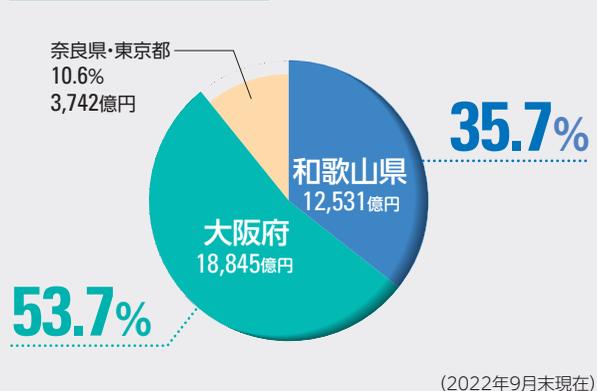
預金地域別構成



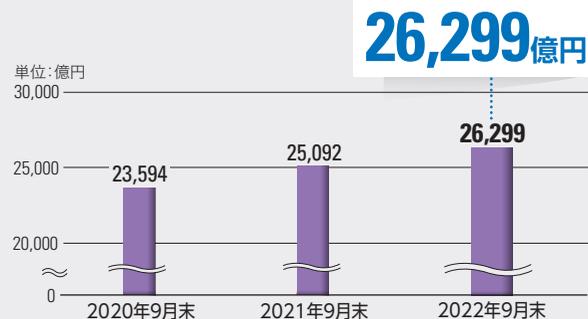
貸出金残高(単体)



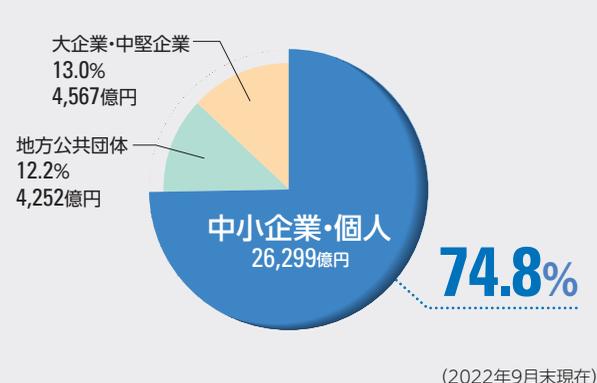
貸出金地域別構成



中小企業等貸出金残高(単体)



中小企業・個人のお客さまへの融資の状況



※中小企業等貸出金とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人)以下の会社および個人への貸出金

## 業務粗利益・経費(単体)



業務粗利益(単体)

227億円

経費(単体)

156億円

単位:億円



## 顧客向けサービス業務利益

「顧客向けサービス業務利益」については「銀行の本業で稼ぐ力」を示した重要な指標であると認識しており、当行は「顧客向けサービス業務利益」の増強に注力していきます。

※顧客向けサービス業務利益

=貸出金平残×預貸金利回差×期中日数÷365+役務取引等利益-営業経費

顧客向けサービス  
業務利益

67億円

単位:億円



## コア業務純益・経常利益・中間純利益(単体)



経常利益(単体)

123億円

中間純利益(単体)

88億円

コア業務純益(単体)

112億円

単位:億円

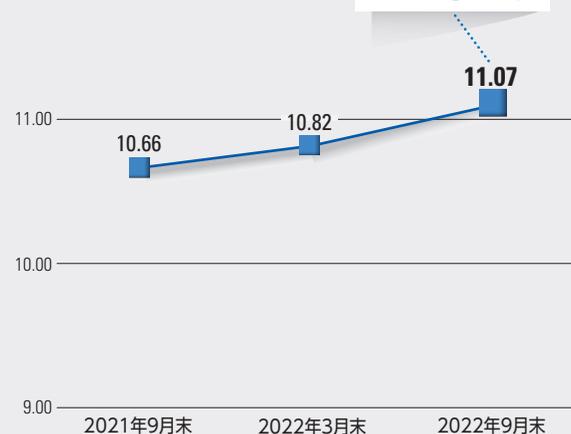


## 自己資本比率(連結)

単位:%

自己資本比率(連結)

11.07%



## 紀陽銀行(連結)

## 第213期中 中間連結貸借対照表

(2022年9月30日現在)

単位:百万円

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	1,122,193	預金	4,528,627
買入金銭債権	0	譲渡性預金	47,130
商品有価証券	38	売現先勘定	7,205
金銭の信託	9,376	債券貸借取引受入担保金	176,535
有価証券	898,239	借入金	590,203
貸出金	3,497,148	外国為替	255
外国為替	2,715	その他負債	52,134
その他資産	55,573	退職給付に係る負債	29
有形固定資産	33,937	睡眠預金払戻損失引当金	488
無形固定資産	4,003	偶発損失引当金	377
退職給付に係る資産	27,342	繰延税金負債	322
繰延税金資産	7,286	支払承諾	7,275
支払承諾見返	7,275	負債の部合計	5,410,586
貸倒引当金	△29,106	<b>(純資産の部)</b>	
		資本金	80,096
		資本剰余金	1,722
		利益剰余金	157,550
		自己株式	△3,308
		株主資本合計	236,060
		その他有価証券評価差額金	△20,109
		繰延ヘッジ損益	648
		退職給付に係る調整累計額	7,038
		その他の包括利益累計額合計	△12,421
		新株予約権	90
		非支配株主持分	1,709
		純資産の部合計	225,438
資産の部合計	5,636,025	負債及び純資産の部合計	5,636,025

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第213期中 中間連結損益計算書

(2022年4月1日から2022年9月30日まで)

単位:百万円

科目	金額
経常収益	42,720
資金運用収益	22,985
(うち貸出金利息)	(17,251)
(うち有価証券利息配当金)	(4,923)
役員取引等収益	8,293
その他業務収益	5,570
その他経常収益	5,872
経常費用	29,669
資金調達費用	1,353
(うち預金利息)	(56)
役員取引等費用	2,546
その他業務費用	8,100
営業経費	15,703
その他経常費用	1,965
経常利益	13,051
特別損失	14
税金等調整前中間純利益	13,036
法人税、住民税及び事業税	3,418
法人税等調整額	297
法人税等合計	3,715
中間純利益	9,320
非支配株主に帰属する中間純利益	12
親会社株主に帰属する中間純利益	9,307

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結子会社

- ・紀陽ビジネスサービス株式会社
- ・紀陽パートナース株式会社
- ・阪和信用保証株式会社
- ・紀陽リース・キャピタル株式会社
- ・紀陽キャピタルマネジメント株式会社
- ・株式会社紀陽カード
- ・株式会社紀陽カードディーシー
- ・紀陽情報システム株式会社

## 紀陽銀行(単体)

## 第213期中 中間貸借対照表

(2022年9月30日現在)

単位:百万円

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	1,122,146	預金	4,540,081
買入金銭債権	0	譲渡性預金	57,130
商品有価証券	38	売現先勘定	7,205
金銭の信託	9,376	債券貸借取引受入担保金	176,535
有価証券	903,065	借入金	590,203
貸出金	3,511,991	外国為替	255
外国為替	2,715	その他負債	41,082
その他資産	32,069	睡眠預金払戻損失引当金	488
有形固定資産	33,609	偶発損失引当金	377
無形固定資産	3,790	再評価に係る繰延税金負債	3
前払年金費用	17,229	支払承諾	7,275
繰延税金資産	9,813	負債の部合計	5,420,640
支払承諾見返	7,275	<b>(純資産の部)</b>	
貸倒引当金	△26,266	資本金	80,096
		資本剰余金	259
		資本準備金	259
		利益剰余金	148,922
		利益準備金	8,043
		その他利益剰余金	140,879
		繰越利益剰余金	140,879
		自己株式	△3,301
		株主資本合計	225,977
		その他有価証券評価差額金	△20,508
		繰延ヘッジ損益	648
		土地再評価差額金	7
		評価・換算差額等合計	△19,852
		新株予約権	90
		純資産の部合計	206,215
<b>資産の部合計</b>	<b>5,626,855</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>5,626,855</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第213期中 中間損益計算書

(2022年4月1日から2022年9月30日まで)

単位:百万円

科目	金額
経常収益	38,210
資金運用収益	23,001
(うち貸出金利息)	(17,265)
(うち有価証券利息配当金)	(4,926)
役務取引等収益	7,085
その他業務収益	2,326
その他経常収益	5,797
経常費用	25,853
資金調達費用	1,353
(うち預金利息)	(56)
役務取引等費用	2,931
その他業務費用	5,327
営業経費	14,625
その他経常費用	1,615
経常利益	12,356
特別損失	14
税引前中間純利益	12,342
法人税、住民税及び事業税	3,169
法人税等調整額	332
法人税等合計	3,501
中間純利益	8,840

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 発行済株式総数

普通株式 **67,300,000株**

## 株主総数

普通株式 **15,228名**

## 株主還元方針

地域金融機関としての公共性に鑑み、長期的に安定した経営基盤の確保や財務体質強化を目的とする適切な内部留保蓄積と、株主還元強化の両立を目指し、株主還元を行うこととし、株主還元率は、配当と自己株式の取得を合わせ、30%以上とする方針としています。

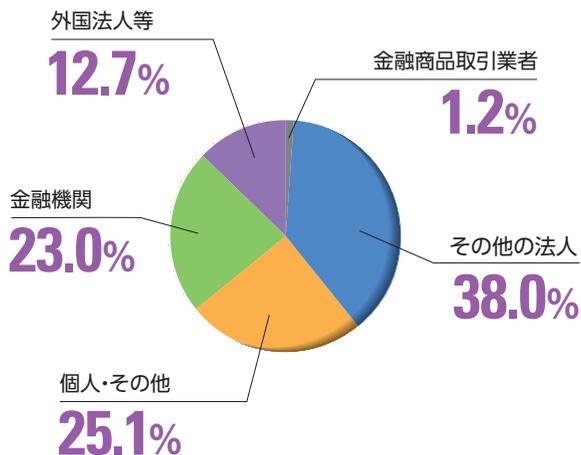
## 株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

## 株式事務取扱場所

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部  
電話 0120-094-777(通話無料)

## 所有者別株式分布 (2022年9月30日現在)



## 大株主の状況

株主名	持株数等 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,561	13.03
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,313	3.52
紀陽フィナンシャルグループ従業員持株会	2,107	3.20
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,229	1.87
明治安田生命保険相互会社	1,007	1.53
株式会社ヤマヨテクスタイル	983	1.49
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	858	1.30
JP MORGAN CHASE BANK 385781	794	1.20
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	746	1.13
株式会社島精機製作所	741	1.12

- (注) 1. 持株数等は、千株未満を切り捨てて表示しています。  
2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数(1,621,331株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

## 株式に関する各種手続き

届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更につきましては、口座開設されている証券会社(証券会社に口座開設されていない株主さまは、左記の三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部)へ届け出ください。

## 単元未満株式をお持ちの皆さまへ

1単元(100株)未満の株式を保有されている株主さまは、保有株式の買い取り請求または単元株への買い増し請求をしていただくことができます。詳細につきましては、左記(株式事務取扱場所(三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部))までお問い合わせください。

(追記) なお、お手続きに必要な書類等については、下記のホームページにお入りいただき、検索することができます。

三菱UFJ信託銀行HP  
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。